

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 ☎763-5110  
 会長 加藤敏昌  
 幹事 青山敏郎  
 会報委員長 小池 宗

No. 20

## ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは希望をもたらす

1986~87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第214回例会 昭和61年11月18日(火) 晴

### ◇“奉仕の理想”

#### ◇出席報告

会員 57名 出席 42名

出席率 73.68%

前回 11月11日 (修正出席率)98.25%

#### ◇ビジター紹介 6名

#### ◇お誕生日祝福

加藤(大)君(11/14)

#### ◇ニコボックス

渡辺 辰夫君 ご多忙のところ、水道局長さんにおいでいただきありがとうございます。

小笠原 清君 ゴルフ会、再三欠席申し訳ありません。

水野 賀統君 堀内水道局長さんをお迎えして。

鈴木 正男君 オーストラリア・メルボルンで開催のアジア太平洋会計士会議に、去る6日家内同伴で出発し、ニュージーランドをまわって、16日無事帰ってまいりました。

新美 敢君 ゴルフ会で優勝しました。

加藤 大豊君 誕生日祝い。

大谷 和雄君 結婚記念日祝い。

#### ◇堀江SAA報告

1. 本日例会終了後、指名委員会を開催いたしますので、指名委員の方は、2F橋の間にお集まり下さい。
2. 次回例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方はお残り下さい。
3. 年末会員・家族懇親会(12/13)のご返事がまだの方は、事務局までお知らせ下さい。
4. ロータリーの友11月号がきておりますので、お帰りにお持ち下さい。

#### ◇加藤(敏)会長挨拶

免疫学研究に関する基礎を築いた「パスツール」は数多くの示唆に富んだ言葉を残している。「文明が誕生するにあたって偶然の果たした役割がどれほどのものであったか、私に

はわかりません。しかし確かなことは、今日、偶然がほほえみかけるのは、忍耐強い研究と執拗な努力によって発見に準備のできた人間に対してだけであるという事実です。」

Pasteur Vallery-Radot の著書に記されています。「ペニシリン」の発見者「フレミング」、夢の中で「ヒント」を得られた日本最初の「ノーベル レクチャー」湯川教授、更には庭を見て「ヒント」を得られた数理解析者で「フィールド」賞を受けられた広中教授、「江崎ディオード」を世に出された江崎氏も又同じ様な事象を活かされたと理解しています。過日「ガバナー」は当「クラブ」で日本のRotary は優等生と言われましたが、その裏返しは皮肉な見方をすればRIの「イエスマン」で主体性がないと言う事にもなりかねません。毎年RI会長はそれぞれもっともらしい「ターゲット」を示し、在任中に何か業績を色々なprojektをされていますが、いたずらに不和雷同することなく、その良きを採り十分同化し着実に一步一步前進させ、しっかりした「バックボーン」を持つ事が今の当「クラブ」には最も必要な事に思えてなりません。

#### ◇講演

“名古屋の水道について”

名古屋市水道局局长

堀内 厚生 氏 (紹介 渡辺君)



名古屋市の水道は給水開始以来72年になります。給水開始当初は、給水人口も25,000人不足、一日の最大給水量も16,000 $m^3$ 程でした。しかし現在では給水人口は市外も合せ、216万人に達し、給水量も夏場には一日116万 $m^3$ も給水しております。この70年間を振り返りますと、水源である木曾川の清流と豊かな流れに恵まれ、市域の拡大と人口の増加、経済の発展などに対応し、増加する水需要のための施設の拡張の歴史であったと言えます。現在給水能力は一日当り1,424,000 $m^3$ となり、当面の水需要には充分応えられる状況にあります。

名古屋の水道は世界の大都市の中でもすぐれた水道であるとの評価を受けております。その事例を述べてみますと、まず木曾川を水道水源としたことでもあります。明治36年愛知県技師上田繁郎氏が研究を重ね、外国人も発想しなかった、水源を木曾川とする水道布設案を報告し、幾多の曲折を経て明治42年、現在の千種区田代町にある東山配水池において起工式が行われたのであります。これにより今日の大名古屋市の基盤ができたのであります。また木曾川を水源とする効用は「水量」のみならず「水質」の面で特筆すべきでありましょう。それも取水地点を犬山町犬山橋下流に設けたことに深い意義があります。

さて、水道と千種区とは創設の起工式を区内東山配水池で挙行了した深い絆がありますが、その外にも新旧を問わず、水道の記念すべき施設があり、その第1は鍋屋上野浄水場で本市の最初の浄水場であり、敷地面積はナゴヤ球場の12倍、緩速ろ過池が14池、創設当時の面影を残しています。また場内にある英国製赤レンガ作りのポンプ所は、東海の名建築物にもなっています。第2は東山配水池と給水塔であります。田代町四観音道東にある両施設は千種区でも最も高台にある施設です。配水池は全部で5池あり60,000 $m^3$ の水を貯えています。給水塔は、昭和5年に建設したのですが高さ27 $m$ 、300 $m^3$ の給水槽を持ち、地震の際などの応急給水装置となっています。最上部は展望台となっており、テレビ塔とほぼ同じ高さで市内を一望できます。第3は「水の小径」でありましょう。鍋屋上野浄水場と天満緑道の間、約200 $m$ を、名古屋の水道通水70周年を記念し、一昨年整備したものです。北端に「水源池広場」、南端に「浄水場広場」をつくり、二つの広場を水の流れて結んだものであります。子供達にも大変喜ばれております。今年8月1日の「水の日」には、水源池岩屋ダムのある岐阜県金山町の町長さんを初め40人を御招待し、西尾市長と子ども交歓会をこの小径で開き、水に感謝い

たしました。水道と縁の深い千種区にはこのように多くの記念すべき施設があります。

名古屋の水道も現在99.8%の高普及率となっております。こうした状況下、これからの水道のあるべき姿はどうかという点に触れてみたいと思います。その第1は安全な水道であります。地震はもとより、濁水といった異常事態にも安定した給水をし、ライフラインとしての水を給水できる水道をつくることあります。その第2は安心して飲める水道であります。水道水の中の塩素はガンの原因にならないかとか、水源の水の中にダイオキシンが混在していないかとか心配される方があります。分析技術の進歩によっては、更に有害な物質が検出されるかも知れません。しかし、これに対処できる施設をつくらねばなりません。第3はおいしい水の供給でありましょう。生活水準の向上とともに需要者のニーズも多様化し「おいしい水」の供給への要請が高まっております。異臭味のある水等の供給は水道に対する信頼感を損うことにもつながりかねませんので、今後も技術開発に努め「おいしい水」の供給を達成することが大切です。

高普及時代を迎えたとはいえ、このような大きな課題を抱えた水道事業を21世紀を迎えすばらしい事業とするために問題解決に向けて努力を重ねて参る所存でございますので皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

#### 第39回ゴルフ会成績

(葛城C.C. 11/13(木))

RANK	NAME	OUT	IN	G	H <sup>cp</sup>	NET
優勝	新美 敢	48	52	90	26	74
準優勝	松居 敬二	40	39	79	4	75
3位	安藤銀之助	48	47	95	19	76
5位	鷺野 義明	45	50	95	13	82
B B	谷口 暢宏	51	50	101	16	85

(参加者 8名)

#### 第17回夫人ゴルフ会成績

RANK	NAME	OUT	IN	G	H <sup>cp</sup>	NET
優勝	谷口 尚子	58	58	116	36	80
準優勝	安藤菜知子	63	58	121	36	85
3位	小林 照子	56	63	119	32	87

次回 昭和62年1月22日(木)10:30 スタート  
多治見C.C. ふるってご参加下さい。

#### ◇次回例会(11月25日)

講演 “東海大地震はなぜおこらなかったか”  
一備えあれば憂いなし—

元 名古屋市熱田図書館長

正村 史腹 氏 (紹介 加藤(正)君)

#### ◇次々回例会(12月2日)

国際センター特別職員

アンジェラ・ボルベ さん

(紹介 深見君)